

教科〔分野〕	保健体育	履修学年	第2学年	指導時間	105 単位時間	担当者	大原厚彦・中富浩典
使用教科書	新しい保健体育 (東京書籍)	補助教材	図解中学体育 (あかつき) 新編新しい保健体育学習ノート2 (東京書籍)				
目標	<p>楽しく夢中になれる授業をめざして ー 自覚と責任, 互いに見て、聞いて、感じて、関わろう! ー (1) 運動の課題や要領を理解して運動を行うとともに、体力の向上や運動の特性に応じた技能を身につけることができるようにする。 (2) 自ら進んで運動に取り組み、公正、協力、責任などの態度を身につけることができるようにする。 (3) 運動の特性に応じた自己やグループの課題解決をめざして、運動の仕方を考え工夫することができるようにする。</p>						
評価の観点	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動や健康・安全についての思考・判断	運動の技能		運動や健康・安全についての知識・理解		
趣旨	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に積極的に取り組もうとする。また、個人生活における健康・安全について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	生涯にわたって運動に親しむことを目指して、学習課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の組み合わせ方を工夫している。また、個人生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。		運動の合理的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって運動に親しむための理論について理解している。また、個人生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。		
評価資料	提出物 (学習ノート・プリント) 行動観察 (準備・片づけ・発表 等)	定期テスト 学習ノート・プリント 行動観察 (グループ会議 等)	スキルテスト 行動観察 (ゲーム中の動き 等)		定期テスト 学習ノート・プリント 行動観察 (発表 等)		
指導計画							
月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準			
4	H 体育理論 運動やスポーツが心身に及ぼす効果	1	<ul style="list-style-type: none"> ○運動やスポーツのからだへの効果 ○運動やスポーツと食生活 ○運動やスポーツの心への効果 	A 体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の行い方について、学習した具体例を挙げてはいる。 ・課題の計画の立て方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・よい演技を認めようとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。
	A 体づくり運動 体ほぐしの運動 体力を高める運動	8	<ul style="list-style-type: none"> ○心と体の関係への気づき ○体の調子を整える ○仲間と交流 ○体の柔らかさを高めるための運動 ○巧みな動きを高める運動 ○力強い動きを高める運動 ○動きを持続する能力を高める運動 ○集団行動 				
5	C 陸上競技	6	<ul style="list-style-type: none"> ○短距離走 (50m) ○長距離走 (1000m・1500m) ○走り幅跳び ○ハードル走 ○リレー (100m・400m・スウェーデンR) 	B 器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・よい演技を認めようとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習する技の合理的な動き方のポイントを見付けている。 ・課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。 ・学習した技から、「はじめ一なかーおわり」などの構成に適した技の組み合わせ方を見付けている。 ・仲間と学習する場面で、仲間のよい動きなどを指摘している。 ・仲間と学習する場面で、学習した安全上の留意点を当てはめている。 ・マット運動では、回転系や巧技系の技を組み合わせるための、滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。 ・平均台運動では、体操系やフランス系の技を組み合わせるための、滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の滑らかな基本的な技、条件を変えた技、発展技のいずれかができる。 	
6	G ダンス フォークダンス	5	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎知識 (発祥国・国籍・題名・特徴) ○練習・発表会 (体育大会) 				C 水泳
7	E 球技 バレーボール	8	<ul style="list-style-type: none"> ○パス (オーバーハンド・アンダーハンド) ○サーブ ○ローテーション ○『Champ.挑戦』大会 ○審判法 (ルール) 				
7	D 水泳	7	<ul style="list-style-type: none"> ○水辺の安全 ○蹴伸び・伏泳き・潜水 ○泳法 (平泳ぎ・クロール・背泳ぎ) ○キック・ストローク ○記録会 (距離・タイム) 	D 水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 		
	1 環境への適応能力 2 活動に適する環境 3 飲料水の衛生的管理	5	<ul style="list-style-type: none"> ○からだの適応能力 ○適応能力の限界 ○過熱条件の至適範囲 ○明るさの至適範囲 ○水の重要な役割 ○飲料水の衛生的管理 				
		1 学期小計	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動 ○ペアワーク活動 ○グループでの教え合い活動 				
9	H 体育理論 運動やスポーツが社会の性の発達に及ぼす効果	1	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツにおけるルールとマナー ○運動やスポーツと社会性 	C 陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることができる。 ・長距離走では、ペースを守り一定の距離を走ることができる。 ・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切った大きな動作で跳ぶことができる。 		
	B 器械運動	8	<ul style="list-style-type: none"> ○マット運動 (各種技、繋ぎ技、連続技) ○跳び箱運動 (各種技) ○平均台運動 (各種技、繋ぎ技、連続技) ○発表会 				
10	G ダンス (男子) 創作ダンス 現代的なリズムのダンス	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ダンスウォーミングアップ ○ひとりで踊る・ペアで動きを作る・グループで表現する ○イメージバスケット ○リズムを表現する ○リズムに合わせて踊る (アフタービート) ○発表会 	D 水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・胸敵などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に留意している。 		
	E 球技 (女子) ソフトボール	9	<ul style="list-style-type: none"> ○パス (チェスト・ショルダー・バウンズ) ○ヒポット・ドリブル・シュート ○ストップ (ジャンプ・ストライド) ○ゲーム ○審判法 (ルール) 				
11	F 武道 柔道	9	<ul style="list-style-type: none"> ○1500mペース走 (男子) ○1000mペース走 (女子) ○記録会 				
12	C 陸上競技	6	<ul style="list-style-type: none"> ○1500mペース走 (男子) ○1000mペース走 (女子) ○記録会 				

